

KURUME CAN DO LIST(R4) 英語科

学年	1年(1学期)	1年(2学期)	1年(3学期)	2年(前半)	2年(後半)	3年(前半)	3年(後半)	
英検	準2級	準2級	準2級	2級	2級	2級・準1級	準1級	
レベル	A1.2	A1.3	A2.1	A2.2	B1.1	B1.2	B2.1	
聞くこと	日常	趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	ゆっくりはっきりと話されれば、自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。	ゆっくりはっきりと放送されれば、公の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。	スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。	外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。	自然な速さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。	自然な速さの標準的な英語で話されていけば、テレビ番組や映画の母語話者同士の会話の要点を理解できる。
	教室	英文の内容に関して、教師が英語で質問するのを聞き取ることができる。	ある程度まとまった量の英語を聞いて、重要な部分を書きとめて、まとめることができる。	スピーチや会話などではっきりと話されれば、話し手の意図や内容を的確に把握できる。	短いモノログやダイアログをナチュラルスピードで聞いて、話し手の意図や内容を的確に把握できる。	自分の周りで話されている少し長めの議論でも、はっきりとなじみのある発音であれば、その要点を理解することができる。	環境問題など社会性の高い幅広い内容を理解することができる。テレビやラジオの政治・経済的なニュースを理解することができる。いろいろな種類のドラマや映画の内容を理解することができる。	トピックが身近であれば、長い話や複雑な議論の流れを理解することができる。
読むこと	日常	簡単なポスターや招待状等の日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。	簡単な語を用いて書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。	簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック、レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を探し理解することができる。	1つのパラグラフ(段落)において、主題文(段落の主題を伝える文)と支持文(主題文を支える例など)を区別することができる。	インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識しながら、学業や仕事に関係ある情報を手に入れることができる。必要であれば辞書を用いて、図表等の資料と関連づけながら理解することができる。	現代の問題など一般的関心の高いトピックを扱った文章を、辞書を使わずに読み、複数の視点の相違点や共通点を比較しながら読むことができる。
	教室	教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。	教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事のつながり)を理解できる。	教科書の英文を辞書を使いながら読み、キーワードや要点を把握することができる。	教科書の英文をディスコースマーカに注意を払うことで、各段落の要旨をよりの確に把握することができる。	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得たりすることができる。	英文の種類や読む目的に応じて、適切に読みこなすことができる。まとまった量の英文の要点を理解することができる。	難しい部分を読み返すことができれば、まとまった量の英文を、詳細に理解することができる。
話すこと(やりとり)	日常	英文の内容に関する英問英答においてYes/No以外で答えることができる。	趣味、部活動などのなじみのあるトピックに関して、はっきりと話されれば、簡単な質疑応答をすることができる。	順序を表す表現であるfirst, then, nextなどのつなぎ言葉や「右に曲がって」や「まっすぐ行って」などの基本的な表現を使って、単純な道案内をすることができる。	簡単な英語で、意見や気持ちをやりとりしたり、賛成や反対などの自分の意見を伝えたり、物や人を較べたりすることができる。	身近なトピック(学校・趣味・将来の希望)について、簡単な英語を幅広く使って意見を表明し、情報を交換することができる。	病院や市役所といった場所において、詳細にまた自信を持って、問題を説明することができる。関連する詳細な情報を提供して、その結果として正しい処置を受けることができる。	ある程度なじみのあるトピックならば、新聞・インターネットで読んだり、テレビで見たニュースの要点について議論することができる。
	教室	スポーツや食べ物好き嫌いなどのとでもなじみのあるトピックに関して、はっきり話されれば、与えられた表現を使って、簡単な意見交換をすることができる。	基本的な語や言い回しを使って、人を誘ったり、誘いを受けて、断ったりすることができる。	身近な話題(趣味・学校生活)であれば、英語で意見の交換ができる。	身近な話題に関するプレゼンテーションを聞いて、内容について質問できる。	個人的に関心のある具体的なトピックについて、簡単な英語を多様に用いて、社交的な会話を続けることができる。	社会性の高い幅広い話題についてやりとりをすることができる。社会的な話題や時事問題について、質問したり自分の考えを述べたりすることができる。	自分が学んだトピックや自分の興味や経験の範囲内のトピックなら、抽象的なトピックであっても、母語話者に混ざって議論できる。
話すこと(発表)	日常	前もって発話する内容を用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句、および構文を用い、意見を言うことができる。	前もって発話する内容を用意した上で、身近なトピックについて、簡単な語や基礎的な句、および構文を用い、複数の文で意見を言うことができる。	一連の簡単な語句や文を使って、自分の趣味や特技に触れながら自己紹介をすることができる。	写真や絵、地図などの視覚的補助を利用して、一連の簡単な語句や文を使って、自分の毎日の生活に直接関連のあるトピック(自分のこと、学校のこと、地域のことなど)について、短いスピーチをすることができる。	使える語句や表現を繋いで、自分の経験や夢、希望を順序だてて、話しをしながら、ある程度詳しく語るることができる。	短い読み物か短い新聞記事であれば、ある程度の流暢さをもって、自分の感想や考えを加えながら、あらすじや要点を順序だてて伝えることができる。	ある視点に賛成または反対の理由や代替案などをあげて、事前に用意されたプレゼンテーションを聴衆の前で流暢に行うことができ、一連の質問にもある程度流暢に対応ができる。
	教室	教科書の内容を、concept-mapを用いて、自分の言葉で伝えることができる。【Retelling】	教科書の内容についての、自分の意見や考えを自分の言葉で伝えることができる。	身近な話題(趣味・学校生活)について簡単なプレゼンテーションをすることができる。	自分が見聞きしたものについて、自分の考えや感想を述べることができる。	自分の考えを事前に準備して、メモの助けがあれば、聞き手を混乱させないように、馴染みのあるトピックや自分に関心のある事柄について、即興でキーワードを使って論理的に語るることができる。	自分の関心事であれば、社会の状況(ただし自分の関心事)について、自分の意見を加えてある程度すらすらと発表し、聴衆から質問があれば、即興で論理的に相手に理解できるように答えることができる。	ディベートなどで、そのトピックが関心のある分野のものであれば、論拠を並べ自分の主張を明確に述べることができる。
書くこと	日常	簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと(好き嫌い、家族、学校生活など)について短い文章を書くことができる。	教科書の内容を、concept-mapを用いて、自分の言葉で書きかえることができる。	日常的・個人的な内容であれば、招待状、私的な手紙、メモ、メッセージなどを簡単な英語で書くことができる。	身の回りの出来事や趣味、場所、仕事などについて、個人的経験や自分などに直接必要のある領域での事柄であれば、簡単な描写ができる。	自分に直接関わりのある環境(学校、職場、地域など)での出来事を、身近な状況で使われる語彙・文法を用いて、ある程度まとまりのあるかたちで、描写することができる。	社説や論文など社会的な話題に関する雑誌記事や新聞記事の要約を書くことができる。	自分の専門分野であれば、メールやファックス、ビジネス・レターなどのビジネス文書を、感情の度合いをある程度含め、かつ用途に合った適切な文体で、書くことができる。
	教室	英文の内容に関する英問英答においてYes/NoだけでなくSVのある文で答えを書くことができる。	趣味や好き嫌いについて複数の文を用いて、簡単な語や基礎的な表現を使って書くことができる。	身近な話題(趣味・学校生活)について、理由を示しながら賛成・反対の意見を書くことができる。	自分の考えや感想をディスコースマーカを適切に用いて、論理的な英文を用いて書くことができる。	身近な状況で使われる語彙・文法を用いれば、筋道を立てて、作業の手順などを示す説明文を書くことができる。	環境問題など社会的な話題について自分の意見をまとまりのある文章で書くことができる。	そのトピックについて、多くの情報源から情報や議論を整理し、それに対する自分の考えの根拠を示しつつ、ある程度の結束性のあるエッセイやレポートなどを幅広い語彙や複雑な文構造を使って書くことができる。